

企業と大学のコミュニケーションによる創造を！

～ 体現する学生の成長を紹介 ～

日時

2025年4月25日(金)

18:00～19:30 対面とオンラインのハイブリッド開催 / 参加費 無料

19:30～20:30 パーティ・タイム / 参加費 2000円(学生は無料)

場所

UECアライアンスセンター1階 100周年記念ホール とオンライン(Zoom)

内容

- 今回は、大学・大学院で専門知識を身に付けながら、併せて企業のインターンで<知を使いこなしている現場>を知るハイブリット型のPBLの事例です。アカデミアと企業を共に理解することで、学生はどのように変わるのでしょうか。
- 今回、事例に取り上げるのは電通大の「Dx2プログラム」。このプログラムの目的は、学生がAIを実社会やビジネスで活用する力を身に付けることです。
大学で数学や統計、情報、プログラミングなどの基礎とデザイン思考の素養を身に付け、企業ではインターンとして現場でのAIの活用を実体験する「基礎と実践のハイブリッドな学び」です。
- 学生が企業に行く前のBeforeと一定期間企業で実体験した後のAfterの違いについて、全体を俯瞰している教員と当事者の学生の声に耳を傾けます。

プログラム

18:00～18:05[開会あいさつ]

小林 淳一 スーパー連携大学コンソーシアム会長 長野大学長

18:05～18:35[事例紹介]

原田 慧 電気通信大学教授 Kaggle Grandmaster

18:35～19:25[パネルディスカッション]

モデレータ: 古川 浩規 電気通信大学キャリア支援センター特任准教授

パネラー: 原田 慧 電気通信大学教授 Kaggle Grandmaster

在米の民間企業で約2か月間国際インターンシップを経験

宮里 龍平 電気通信大学大学院 情報学専攻修士2年

寺崎 海翔 電気通信大学大学院 情報学専攻修士2年

19:25～19:30[閉会あいさつ]

奥野 剛史 電気通信大学副学長(教育担当) 大学教育センター長

19:30～20:30[パーティ・タイム] 軽食付き交流会

お申込みは >> <https://x.gd/egW1V> 又は右のQRコードから



<主催> 一般社団法人 スーパー連携大学コンソーシアム

<お問合せ> TEL: 042-443-5939 mail: jimu@super-daigaku.com